（請負代金・役務提供型売掛）

請 求 の 趣 旨【□前記記載のとおり】

1　被告【□ら】は、原告　　に対し、【□連帯して】次の金額を支払え。
【□（ただし、被告＿＿＿＿＿＿については、＿＿＿＿＿円の限度）】
⑴　金＿＿＿＿＿＿＿＿＿円
□⑵　⑴の金額【□のうち金＿＿＿＿＿＿＿＿円】に対する〔□＿＿　＿＿年＿＿月＿＿日
□本訴状送達の日の翌日〕から支払済みまで年＿＿＿パーセントの割合による金員
2　訴訟費用は被告【□ら】の負担とする。
との判決【□及び仮執行宣言】を求める。

請 求 の 原 因（紛争の要点）

1　原告　は、【□＿＿＿＿＿業を営む者であり】、被告　　と、＿＿　＿年＿＿
月＿＿日、以下の内容で契約を締結し【□以降、継続的に仕事（業務）を行っ】た。
⑴　仕事または業務（以下、「仕事等」という。）の内容
被告　　から依頼（委託）された仕事等を〔□完成（完了）させる　□行う〕
旨の契約で、その具体的内容は、以下のとおりである。
〔　　〕
⑵　契約代金
〔□【□総額　□月額】＿＿＿＿＿＿円　□別紙のとおり　□　　〕

⑶　支払期日
〔□＿＿　＿＿年＿＿月＿＿日　　□定めなし　　□別紙のとおり
□毎月＿＿日締切（□翌　□当）月＿＿日支払　　□　　〕

【□⑷　連帯保証人　　被告＿＿＿＿＿＿
＿＿　＿＿年＿＿月＿＿日付け保証を証する書面又は電磁的記録あり
（□極度額＿＿＿＿＿＿円）　　】

2　原告　は、上記1⑴の仕事等を、＿＿＿年＿＿月＿＿日【□から＿＿＿年＿＿月
＿＿日までの間】に〔□完成（完了）させ【□完成物を引き渡し】た　□行った〕。
その代金は、【□総額】＿＿＿＿＿＿＿＿円である（□詳細は別紙のとおり）。

3　上記2の代金について、原告　に支払われた金額は、〔□ない　□次のとおりである〕。
□＿＿　＿年＿＿月＿＿日【□から＿＿　＿＿年＿＿月＿＿日までに】＿＿＿＿＿＿円